

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公表番号】特表2018-518246(P2018-518246A)

【公表日】平成30年7月12日(2018.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2018-026

【出願番号】特願2017-559380(P2017-559380)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/009 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/009

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アイレーザ装置のための患者アダプタであって、

眼に配置され、且つ吸引力によって前記眼に固定される吸引リング部を含む第 1 の部分アダプタユニットであって、前記吸引リング部はリング軸線を有する、第 1 の部分アダプタユニットと、

前記第 1 の部分アダプタユニットとは別に形成された第 2 の部分アダプタユニットであって、前記アイレーザ装置に着脱可能に結合するように構成されており、且つ前記眼の表面を成形するための眼接触要素を含む、第 2 の部分アダプタユニットとを含み、

前記第 1 の部分アダプタユニットと前記第 2 の部分アダプタユニットとは、モジュール内に共に機械的に保持され、且つ前記モジュール内において、前記眼接触要素が前記吸引リング部に対して第 1 の軸方向位置をとる第 1 の相対位置と、前記眼接触要素が前記吸引リング部に対して第 2 の軸方向位置をとる第 2 の相対位置との間で互いに対して調整可能である、患者アダプタ。

【請求項 2】

前記眼接触要素の前記第 1 の軸方向位置は、前記吸引リング部が前記眼に配置されたときに前記眼接触要素が前記眼に依然として接触していない位置に対応し、及び

前記眼接触要素の前記第 2 の軸方向位置は、前記吸引リング部が前記眼に配置されるときに前記眼接触要素が前記眼に成形接触する位置に対応する、請求項 1 に記載の患者アダプタ。

【請求項 3】

1 つ以上のスナッピン式舌部のシステムが前記第 1 の部分アダプタユニット及び前記第 2 の部分アダプタユニットのうちの少なくとも 1 つに配置されており、前記 1 つ以上のスナッピン式舌部は、前記第 1 の部分アダプタユニットと前記第 2 の部分アダプタユニットとを、軸方向の間隙を有して互いにスナッピン結合するように適合されている、請求項 1 又は 2 に記載の患者アダプタ。

【請求項 4】

前記第 1 の部分アダプタユニット及び前記第 2 の部分アダプタユニットのうちの 1 つは、前記第 1 の部分アダプタユニット及び前記第 2 の部分アダプタユニットのうちの他方の

軸方向当接のための軸方向変位可能当接面が設けられており、前記患者アダプタは、第 1 の制御位置と第 2 の制御位置との間で調整可能な制御部材を含み、前記制御部材は、前記第 1 の制御位置において前記当接面の軸方向変位を妨げ、且つ前記第 2 の制御位置において前記当接面の軸方向変位を可能にする、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の患者アダプタ。

【請求項 5】

前記当接面は、前記第 1 の部分アダプタユニットに配置されている、請求項 4 に記載の患者アダプタ。

【請求項 6】

前記制御部材は、制御リングによって形成されており、前記制御リングは、前記リング軸線の周りを回転するように配置されており、且つ前記当接面を形成する軸方向に面する端面を含み、前記制御リングは、前記制御リングが前記吸引リング部に対して軸方向の間隙なく配置される第 1 の回転位置と、前記制御リングが前記吸引リング部に対して軸方向の遊びを有する第 2 の回転位置との間で調整可能である、請求項 4 又は 5 に記載の患者アダプタ。

【請求項 7】

前記制御リングの前記第 1 の回転位置は、前記吸引リング部が前記眼に配置されるときに前記眼接触要素が前記眼に依然として接触していない前記眼接触要素の軸方向位置に対応し、及び

前記第 2 の回転位置において、前記軸方向の遊びは、前記吸引リング部が前記眼に配置されるときに前記眼接触要素が前記眼に成形接触する前記眼接触要素の軸方向位置に対応する軸方向位置へと前記制御リングが動くことを可能にする、請求項 6 に記載の患者アダプタ。

【請求項 8】

前記制御リングは、前記第 1 の部分アダプタユニット及び前記第 2 の部分アダプタユニットのうちの 1 つの案内凹部内に案内される被案内部材を含み、前記案内凹部内における前記被案内部材の係合は、前記制御リングの前記第 1 の回転位置において実質的に軸方向の間隙がなく、且つ前記第 2 の回転位置において軸方向の遊びを有する、請求項 7 に記載の患者アダプタ。

【請求項 9】

前記制御リングは、前記制御リングの回転手動操作のための径方向に突出する把持用突起を含む、請求項 6 ～ 8 のいずれか一項に記載の患者アダプタ。

【請求項 10】

前記第 1 の部分アダプタユニットは、吸引リング部材と、前記吸引リング部材とは別に形成された補助部材とを含み、前記吸引リング部材は、前記吸引リング部を形成し、且つ前記補助部材に結合されており、前記制御部材は、前記補助部材に対する動作のために前記補助部材上で案内される、請求項 4 ～ 9 のいずれか一項に記載の患者アダプタ。

【請求項 11】

1 つ以上のスナッピン式舌部のシステムが前記吸引リング部材及び前記補助部材のうちの少なくとも 1 つに配置されており、前記 1 つ以上のスナッピン式舌部は、前記補助部材を前記吸引リング部材に軸方向の間隙なく結合するように適合されている、請求項 10 に記載の患者アダプタ。

【請求項 12】

前記第 1 の部分アダプタユニットは、前記吸引リング部に軸方向に向かう方向に漏斗型の状態でテーパするセンタリング部を含み、及び前記第 2 の部分アダプタユニットは、前記センタリング部への軸方向挿入のために適合された円錐形部分を含み、前記円錐形部分は、前記第 1 の部分アダプタユニット及び前記第 2 の部分アダプタユニットの前記第 2 の相対位置において、前記第 1 の相対位置と比べて前記センタリング部により深く挿入される、請求項 1 ～ 11 のいずれか一項に記載の患者アダプタ。

【請求項 13】

前記第 1 の部分アダプタユニット及び前記第 2 の部分アダプタユニットによって少なくとも部分的に境界が定められる吸引チャンバを含み、それにより、前記眼接触要素は、前記吸引チャンバの排気によって前記吸引リング部に対して前記第 2 の軸方向位置に保持され得、前記吸引チャンバは、例えば、前記センタリング部と前記円錐形部分との間に形成されている、請求項 1 2 に記載の患者アダプタ。

【請求項 1 4】

前記第 1 の部分アダプタユニット及び前記第 2 の部分アダプタユニットのうちの 1 つは、前記第 1 の部分アダプタユニット及び前記第 2 の部分アダプタユニットのうちの他方の軸方向当接のための複数の当接面が設けられており、前記複数の当接面は、前記リング軸線の周りに周方向に分配されており、前記複数の当接面のそれぞれは、軸方向に変位可能に配置されており、前記制御部材は、前記第 1 の制御位置において各当接面の軸方向変位を妨げ、且つ前記第 2 の制御位置において各当接面の軸方向変位を可能にする、請求項 4 ~ 1 1 のいずれか一項に記載の患者アダプタ。